

令和8年10月5日

健康政策課 健康づくり・糖尿病対策グループ

担当者：畠山、南部（3364、3133）

電話：087-832-3273

令和7年度

小児生活習慣病予防健診の結果(概要)がまとまりました。

1 健診の目的

小児生活習慣病のハイリスクの子どもの早期発見と児童・生徒及び保護者に対して効果的な健康教育を実施し、将来の生活習慣病の発症を予防する。また、小児生活習慣病予防健診結果をもとに、子どもの生活習慣病の実態を把握し、今後の改善策や予防策を検討するための基礎資料とする。

2 健診の概要

対象	小学校4年生	中学校1年生
参加事業者	17市町、香川大学教育学部	14市町、香川大学教育学部
参加人数	6,578人	2,737人
調査項目	身長、体重	
	血液検査（糖代謝、脂質、肝機能に関係する8項目） HbA1c、総コレステロール、LDLコレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪、AST、ALT、 γ -GTP	
	生活習慣調査（食事、運動、睡眠、家族歴等に関する17項目）	

3 主な結果

◆ 小学校4年生

○ 検査結果について

- ・肥満傾向（男子14.5%、女子10.9%）、痩身傾向（男子2.3%、女子2.1%）
- ・脂質異常（男子10.5%、女子11.7%）
- ・脂肪肝リスク（男子3.8%、女子1.8%）

○ 増加傾向にある生活習慣

食事（夕食後の間食を毎日食べる、果物をほとんど食べない）

運動（情報メディア等の利用時間が2時間以上、徒歩による通学時間が20分以下）

○ 男女共に肥満傾向（肥満度20%以上）と関連がみられた生活習慣

食事（はやく食べる、野菜摂取が少ない） 運動（情報メディア等の利用時間が長い）

睡眠（就寝時間が遅い）

◆ 中学校1年生

○ 検査結果について

- ・肥満傾向（男子11.8%、女子10.3%）、痩身傾向（男子3.2%、女子3.6%）
- ・脂質異常（男子11.2%、女子12.6%） ・脂肪肝リスク（男子4.8%、女子2.2%）

○ 増加傾向にある生活習慣

食事（いつもお腹いっぱい食べる、果物をほとんど食べない、朝食を食べない日が多い）

運動（情報メディア等の利用時間が2時間以上、筋トレを行っていない）

○ 男女共に肥満傾向（肥満度20%以上）と関連がみられた生活習慣

食事（はやく食べる）

○ 男女ともに肥満傾向（肥満度20%以上）の割合が低かった生活習慣

食事（「適正体重になるように食べる」に気を付けている）

運動（有酸素運動をしている） 歯磨き（歯磨きを1日2回以上している）

※中学校1年生の健診は受診生徒が県全体生徒数の約4割であったため、健診結果は県全体を示すものではありません。

また、令和3年度から新たに1実施主体が対象に加わり令和元年度及び2年度とは対象が異なります。

※血液検査に異常値がみられたものであっても、ただちに治療が必要であることを意味するものではありません。

将来、生活習慣病にならないために、健診をきっかけに生活習慣の見直しを呼びかけます。